

第8期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 進行管理事業 令和3年度進捗状況について

- ▶各事業の評価方法 ……指標に対する実績値の割合で評価 A：十分達成（75%以上）／B：概ね達成（50%以上75%未満）／C：やや不十分（25%以上50%未満）／D：不十分（25%未満）
- ▶目標達成度 ……A評価=100点、B評価=75点、C評価=50点、D評価=25点として配点し、基本目標ごとに、評価の合計点数を満点数で除して得た割合（小数点以下、四捨五入）
- ※前年度の目標達成度について：令和3年度から計画期間が切り替わり、施策の構成は一部変更となっているため、前年度（令和2年度）の目標達成度は参考値である。

地域包括ケアシステムの推進体制

目標達成度
75%
(前年度 -) ※

コロナ禍ではあるが、会議の形式を工夫して、はじめて「地域ケア推進会議（地域ケア全体会議）」を開催することができた。

施策	個票No.	進行管理事業	評価
地域の課題・ニーズに基づく施策の展開	1	地域ケア推進会議の開催	B

基本目標1「介護予防・生活支援」の基盤づくりと拡大に向けて

目標達成度
94%
(前年度 81%) ※

周知強化や感染防止対策の工夫に努め、予定を上回る事業を実施できた。また、PDCAサイクルを意識した事業の向上を図ることができた。

施策	個票No.	進行管理事業	評価
(1) 介護予防・生活支援の体制整備	2	生活支援サポーター養成研修	A
(2) 就労や社会参加の促進	3	いきいきセンターの活用	A
(3) 介護予防と健康づくりの推進	4	介護予防把握事業	B
(4) 生活支援サービスと見守り支援の充実	5	高齢者見守り支援事業	A

基本目標2「医療・介護」の連携推進と提供体制確保に向けて

目標達成度
89%
(前年度 94%) ※

オンライン形式の活用により、コロナ禍でも多職種との連携や市民向け講演会等に取り組んだ。新たな周知方法を実施した事業もある一方、情報提供向上の取り組みは未実施となった。

施策	個票No.	進行管理事業	評価
(1) 在宅医療・介護連携の推進	6	在宅医療の地域住民への普及啓発	A
	7	在宅医療・介護関係団体の連携促進	A
(2) 認知症の早期発見・早期対応	8	認知症総合支援事業	A
(3) 相談窓口の充実とケアマネジメント向上	9	高齢者サポートセンターの機能強化推進	A
(4) 点検・指導監督等による介護保険事業の信頼向上	10	介護給付費等適正化事業	A
(5) 介護負担の軽減と介護離職の防止	11	情報提供向上の取り組み	D
(6) 介護人材確保と業務効率化の支援	12	介護人材の確保支援	A

基本目標3「住まい」の安心・安全と共生のまちづくりに向けて

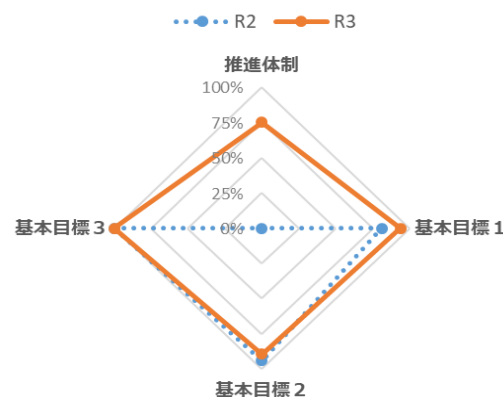
目標達成度
100%
(前年度 100%) ※

従来の手法の見直し等により、大幅な拡大を果たしている事業があり、高い達成度につながっている。

施策	個票No.	進行管理事業	評価
(1) 個々のニーズに応じた住まいの支援	13	住宅確保要配慮者等民間賃貸住宅あっせん制度	A
(2) 地域の安全・安心対策事業の推進	14	避難行動要支援者対策事業	A
(3) 「まちの健康づくり」の推進	15	道路等の補修	A
(4) 高齢者の権利擁護の支援	16	成年後見制度の利用促進	A
(5) 地域共生社会に向けて	17	認知症サポーター等養成事業	A

計画全体の総括

第8期計画の初年度にあたる令和3年度は、推進体制及び3つの基本目標において、ほとんどの事業が予定を上回る達成状況となった。



達成状況は評価できる一方、コロナ禍の影響で事業の先行きが見通せず、適切な指標を設定しづらい面があった。なお、個々の事業においては、PDCAサイクルの意識が定着してきており、地域包括ケアシステムの推進が量的拡大だけでなく、質の向上にも向かっていると考えられる。